

まちづくり交付金 事後評価シート
吉田町地区

平成20年12月

島根県雲南市

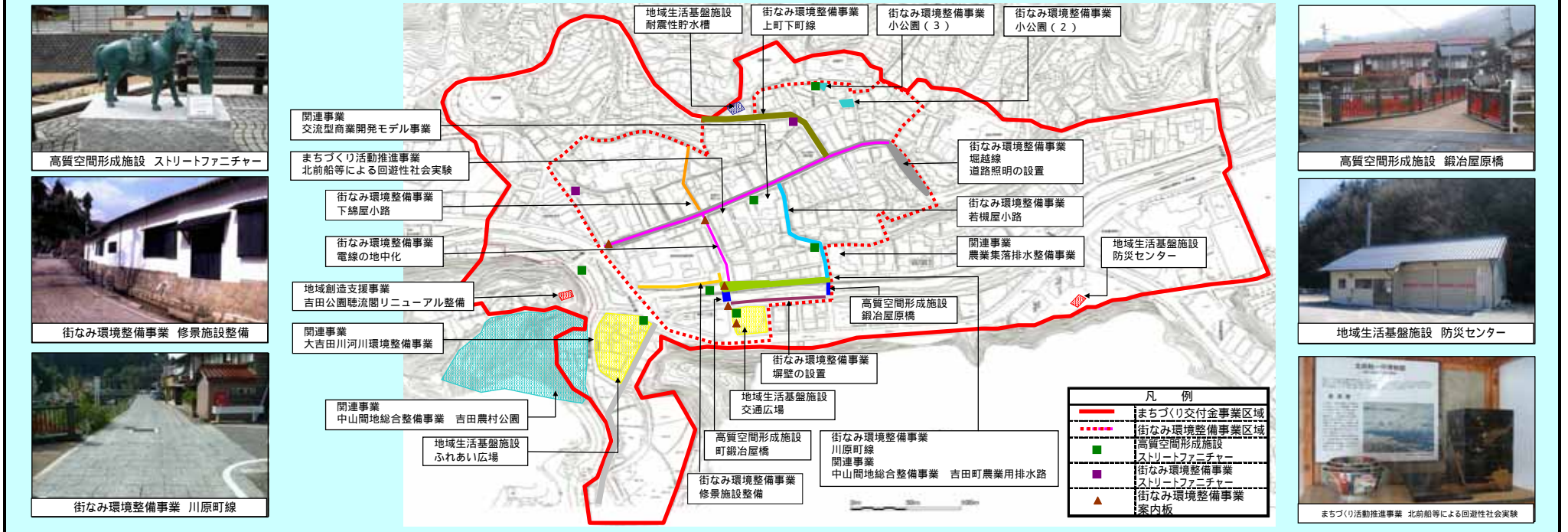
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	島根県		市町村名	雲南市		地区名	吉田町地区		面積	19ha		
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	510百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場1・2、地域防災施設1・2)、高質空間形成施設(緑化施設等6～8)、街なみ環境整備事業(道路1・2・5、通路2・3、小公園・緑地2、測量・調査・設計、電線の地中化、ストリートファニチャー、案内板、塀壁の設置、道路照明の設置、修景施設整備)									
		提案事業	地域創造支援事業(吉田公園聴流閣リニューアル整備)、まちづくり活動推進事業(北前船等による回遊性社会実験)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(緑化施設等1～5)、既存建造物活用事業、街なみ環境整備事業(道路3・4・6、通路1、小公園・緑地1、地区防災施設、空家住宅等除却、休息施設の設置)			既存施設の利用、関連事業での実施などによる取り止め			影響なし			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	街なみ環境整備事業(小公園・緑地3)			吉田町まち並委員会からの提案により、ストリートファニチャーの設置に併せ、住民とのふれあいの場を設けるために整備			影響なし			
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
	変更	なし										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	来街観光客数	人/年	10,400	H14	13,600	H20	12,700	13,800	あり なし	一部事業の未完了により効果発現が十分ではないが、本事業での街なみ整備及びイベント開催などにより来街観光客数が増加の見込みとなった。	平成23年8月
	指標2	ツーリズム宿泊者数	人/年	100	H15	230	H20	201	267	あり なし	一部事業の未完了により効果発現が十分ではないが、本事業での街なみ整備及びイベント開催などによりツーリズム宿泊者数が増加の見込みとなった。	平成22年4月
	指標3	街並み居住の満足度	%	35	H16	60	H20	-	52	あり なし	事業完了後をイメージしてのアンケート調査ではあったが、一部事業の未完了により効果発現が十分でないため、アンケート結果に影響したと考えられる。ただし、評価値算出時点において、従前値と比べ大幅に増加していることから、フォローアップ時には目標値を達成する可能性が高い。	平成22年4月
指標4	観光施設における売上額	千円/年	2,021	H15	2,627	H20	2,610	2,688	あり なし	工事の通行規制等により観光施設の入館料への影響が大きかったが、特産品の開発が進み、商品販売の売上額が増加したため、全体として増加の見込みとなった。	平成22年5月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域においてまちづくりの機運が高まったことから、まちづくりに関係する14団体で構成される鉄の歴史村交流推進会議により旧郵便局舎を活用され、H20.3月に鉄の歴史美術館「ひが」がオープンした。 ・各種団体においてホームページが整備され、個性ある街なみや観光施設について積極的に情報発信を行うようになった。 ・H20より地域資源活用企業化コーディネート活動等支援事業(経済産業省主管)に着手し、地域資源の活用について検討が進められている。 ・満足度アンケートの調査結果から、地域のメインストリートである堀越線がきれいに整備されて良かったとの意見が多数あった。 ・合併時(H16.11.1)から事後評価時までにおける人口の減少率を計測すると、雲南市全体では5%、雲南市吉田町では6%であるのに対し、本地区内では4%であり、人口の流出は市内では比較的少ない地区であるとの結果が出ている。 											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	事業成果や事業の進め方について確認するモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後、事業成果について確認し、改善・活用方法等を検討する。	
	住民参加プロセス	都市再生整備計画の策定における交流型商業開発委員会での検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					議事録などにより、実施状況を確認する。	
	持続的なまちづくり体制の構築	・吉田町まち並委員会におけるにぎわい創出のための各種活動 ・民間のまちづくり会社におけるプロモーション活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					活動記録やヒアリングなどにより、今後の運営継続を確認する。	

様式2 - 2 地区の概要

吉田町地区(島根県雲南市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 鉄山師の街並みとして、内外にアピールできる環境整備を行い、入込客の増大を図り、居住者の地域に対する誇りを高める。 目標1: 個性ある街並みを形成し、より多くの観光客をこの地へ誘客する。 目標2: 来客に対し、出来るだけ楽しめる環境を提供し、ツーリズム交流客となるようにする。 目標3: 居住者の安全、安心を確保し、街並みに対する誇りを醸成する。	来街観光客数	単位: 人/年	10,400	H14	13,600	H20	13,800	H20
	ツーリズム宿泊者数	単位: 人/年	100	H15	230	H20	267	H20
	街並み居住の満足度	単位: %	35	H16	60	H20	52	H20
	観光施設における売上額	単位: 千円/年	2,021	H15	2,627	H20	2,688	H20



まちの課題の変化

- 街なみ景観の向上を図ったことにより街なみの魅力が向上し、来街観光客数とツーリズム宿泊者数が増加したこと、また、特産品を開発・販売したことにより、観光施設における売上額の増加へとつながった。
- 街なみ景観の向上を図ったことにより個性ある街なみの価値が再発見でき、住民の街なみに対する愛着感が増したことから、また、防災施設の整備により安全、安心の居住環境の向上を図ったことから、住民の居住満足度が高まった。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 観光施設や特産品についての宣伝活動を強化していく必要がある。
- 今後も継続的に住民等とコミュニケーションをとり、合意形成を図りながらまちづくりを進めていく。
- 早期の事業完了・供用開始を行い、個性ある街なみ環境を提供し、地域の活性化へつなげる。
- 今後、吉田町まち並委員会における街なみ景観整備を着実に継続していく必要がある。
- 空き家を利用した交流施設や店舗の設置、また、既存店舗における事業拡大等により、来街する観光客に対するサービスの向上を図る必要がある。
- このことにより、観光施設が増え、雇用の場も増加することになる。
- 住民がまちづくりにおける活動の推進を図ることで、まちづくりに対する意識、活気溢れる地域に対する誇りと自信を持つ必要がある。
- まちづくりに関係する各種団体、民間会社が住民と一体となり、情報を共有しながら今後のまちづくりを考え、継続的に活動を実施していく必要がある。